以下の5つの熟語の成り立ち方としてあてはまるものをA~Dの中から1つずつ選びなさい。



- 1 軽薄
- 2 月 末
- 3 言語
- 4 植 林
- 5 新 旧
 - A 似た意味をもつ漢字を重ねる
 - B 反対の意味をもつ漢字を重ねる
 - C 前の漢字が後の漢字を修飾する
 - D A~Cのどれにもあてはまらない

回答欄 A B C D

2

3 0 0

4

5



1003370

以下の5つの熟語の成り立ち方としてあてはまるものをA~Dの中から1つずつ選びなさい。



- 1 安泰
- 2 隔 離
- 3 敬 老
- 4 天 地
- 5 壁 画
 - A 似た意味をもつ漢字を重ねる
 - B 反対の意味をもつ漢字を重ねる
 - C 動詞の後に目的語をおく
 - D A~Cのどれにもあてはまらない

回答欄 A B C D

2

3

4

5



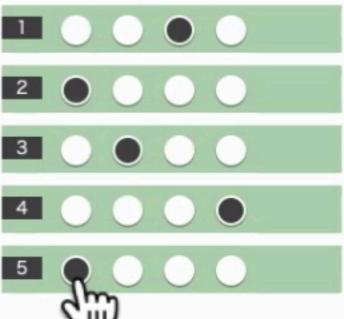
1003370

以下の5つの熟語の成り立ち方としてあてはまるものをA~Dの中から1つずつ選びなさい。



- 1 加 筆
- 2 培 養
- 3 勤務
- 4 雌雄
- 5 赤 貧
 - A 似た意味をもつ漢字を重ねる
 - B 前の漢字が後の漢字を修飾する
 - C 動詞の後に目的語をおく
 - D A~Cのどれにもあてはまらない

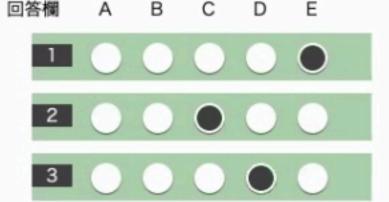
回答欄 A B C D



以下の3つの文を完成させるためにA~Eの中から最もつながりのよいものを1つずつ選びなさい。 ただし、同じ選択肢を重複して使うことはありません。



- [] 認知症の発症が遅くなり進行も特に速くないことがわかっている。
- 2 [] 日常会話に比べて時間が必要で少なくとも5年から7年はかかるといわれる。
- 3 [] , 脳が別々に処理するのではなく共通する部分があるためだと考えられている。
 - A 言語習得は音声を聞いて理解することで達成されるため
 - B 子どもが2つの言語に同程度に触れる機会に恵まれていれば
 - C 母語でない言語で年齢相応の学習ができるレベルに達するには
 - D バイリンガルの人が2つの言語を高いレベルで操ることができるのは
 - E 1つの言語しか話さないモノリンガルの人に比べてバイリンガルの人のほうが





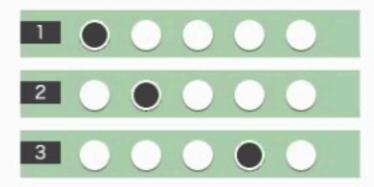
次へ

以下の3つの文を完成させるためにA~Eの中から最もつながりのよいものを1つずつ選びなさい。 ただし、同じ選択肢を重複して使うことはありません。



- [] . 高齢者に多い骨粗しょう症対策に重要な栄養素である。
- 2 [], 日光の紫外線を浴びることによって皮膚で合成される。
- 3 [] 紫外線を避けてあまり日に当たらないためとも考えられる。
 - A ビタミンDは骨のもととなるカルシウムの吸収を助けるため
 - B 干ししいたけはしいたけを天日干しして紫外線に当てることで
 - C 高齢になると若い人より皮膚でビタミンDができにくくなるので
 - D 女性が男性に比べて血中のビタミンD濃度が低い傾向にあるのは
 - E ビタミンDは魚や干ししいたけなどの食品から摂取できるほかに

回答欄 A B C D E



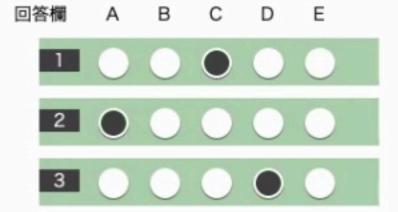


次へ

以下の3つの文を完成させるためにA~Eの中から最もつながりのよいものを1つずつ選びなさい。 ただし、同じ選択肢を重複して使うことはありません。



- 1 [] , それ以外の広告についてははっきり認識していない。
- 2 [] , 生産も多品種少量の方向に向かわなければならない。
- 3 [], その商品によって構成されるライフスタイルである。
 - A 時代は変化し、消費は個性化し多様化するから
 - B 消費者は多くの情報を求めるようになってきたから
 - C 人びとは常に購買を意識している商品の広告を意識し
 - D 広告によって受け手の心の中に残るものは商品だけでなく
 - E 広告が攻撃されることは商品が攻撃されることにもなるから



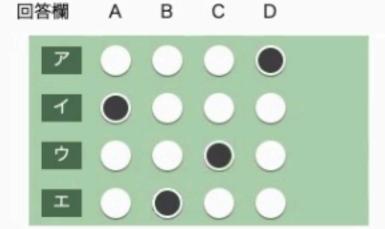


次へ



爪はれっきとした皮フの一部で[ア] [イ] [ウ] [エ]指先を保護している。

- A ここで増殖した細胞が
- B それが角化して硬い爪甲になり
- C ケラチンというタンパク質を作り
- D 根っこにある爪母というところが工場になり







爪はれっきとした皮フの一部で[ア] [イ] [ウ] [エ] 指先を保護している。

- A ここで増殖した細胞が
- B それが角化して硬い爪甲になり
- C ケラチンというタンパク質を作り
- D 根っこにある爪母というところが工場になり

回答欄 A B C D

7				•
1		0		
ゥ			•	0
I	0	0	0	

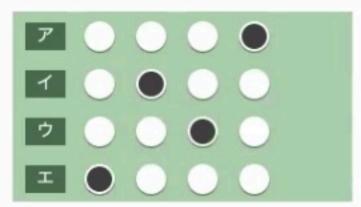




現在のところは [ア] [イ] [ゥ] [エ] ものではない。

- A 役割を超える
- B 人間の慰めであり
- C 癒しの道具という
- D ペットロボットの仕事は

回答欄 A B C D



回答時間

次へ



現在のところは [ア] [イ] [ゥ] [エ] ものではない。

- A 役割を超える
- B 人間の慰めであり
- C 癒しの道具という
- D ペットロボットの仕事は

回答欄 A B C D

7	•
7 (
2	
I	

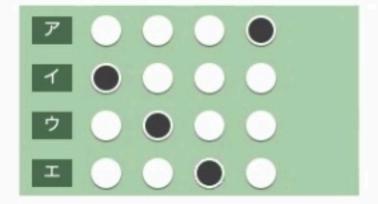


身体障害者補助犬法が施行され

[ア] [イ] [ウ] [エ] 聴導犬や介助犬はいずれも数十匹にすぎない。

- A 認識が徐々に高まりつつあるが
- B 以前から公式に認知されていた
- C 盲導犬ですら全国で千匹に満たず
- D 盲導犬, 聴導犬, 介助犬など補助犬について

回答欄 A B C D





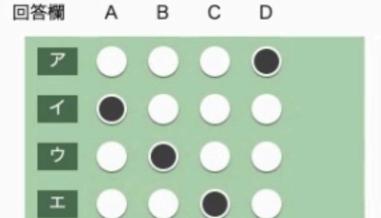
次へ



身体障害者補助犬法が施行され

[ア] [イ] [ウ] [エ] 聴導犬や介助犬はいずれも数十匹にすぎない。

- A 認識が徐々に高まりつつあるが
- B 以前から公式に認知されていた
- C 盲導犬ですら全国で千匹に満たず
- D 盲導犬, 聴導犬, 介助犬など補助犬について



回答時間

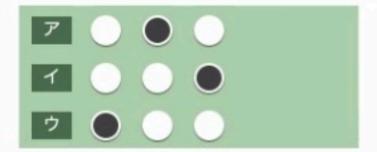
次へ



私たちが世界を見るときは、 [P] な距離だけでなく, [A] な経緯や相互の交通の便利さ,あるいは人的,物的交流を通じて形成された, [A] な距離や親近感によって遠近を測ります。

- A 心理的
- B 物理的
- C 歴史的

回答欄 A B C





次へ



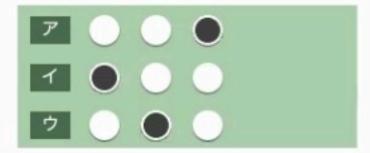
物事にはそれまでとは違う反応が起きるギリギリの値「しきい(関)値」がある。小さな [ア] である中小企業の技術の信頼性が世界的にも高い評価を得ているのは [イ] のトップに [ウ] 経験者が多いからだ。彼らは効率を追求しても越えてはならない「しきい値」をはっきり認識している。

A 経 営

B 現場

C組織

回答欄 A B C







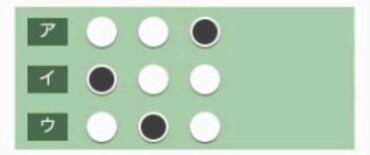
物事にはそれまでとは違う反応が起きるギリギリの値「しきい(関)値」がある。小さな [ア] である中小企業の技術の信頼性が世界的にも高い評価を得ているのは [イ] のトップに [ウ] 経験者が多いからだ。彼らは効率を追求しても越えてはならない「しきい値」をはっきり認識している。

A 経営

B 現場

C組織

回答欄 A B C



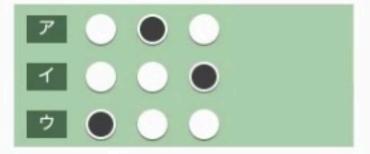




地域によって差はあるが、各地域で話される方言にも敬語表現は存在する。共通語の敬語が浸透することで [ア] した表現も多いが、場面に応じて使い分けることで [イ] する例もある。例えば「~してはる」など近畿地方においてくだけた場面にも使用される敬語「はる」は、共通語と [ウ] できないため、現在も広く用いられている。

- A置換
- B衰退
- C共存

回答欄 A B C





次へ



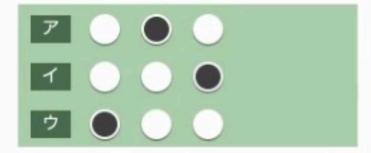
地域によって差はあるが、各地域で話される方言にも敬語表現は存在する。共通語の敬語が浸透することで [ア] した表現も多いが、場面に応じて使い分けることで [イ] する例もある。例えば「~してはる」など近畿地方においてくだけた場面にも使用される敬語「はる」は、共通語と [ウ] できないため、現在も広く用いられている。

A 置換

B衰退

C共存

回答欄 A B C



回答時間

次へ

1003370

以下の文章を読んで問いに答えなさい。この問題は3問組です。

昆虫食の霊長類は単純な消化器系をもち、葉食の霊長類はもっとも複雑な消化器系をもつことからみても、葉食が霊長類で特殊化した食性であることがわかる。葉ばかり食べて生活しているコロブス亜科のクロシロコロブスは、4室に分かれた大きな胃をもち、前部の2室で胃酸を弱めて大量のバクテリアを共生させている。【a】霊長類で限らず動物はほとんど植物繊維(セルロース)を分解する酵素(セルラーゼ)をもっていないので、バクテリアの力を借りて発酵させ、脂肪酸ガスに変えねばならない。【b】ウシなどの反芻動物は、みなこの前胃発酵をしている。【c】ゴリラは胃ではなく巨大な直腸にバクテリアを共生させているので、後腸発酵動物とよばれる。【d】程度の差こそあれ、葉を食物の一部にしている霊長類は後腸発酵が多い。ゴリラ以外の類人猿も人間も後腸発酵である。前胃発酵に比べると後腸発酵は消化効率が悪く、

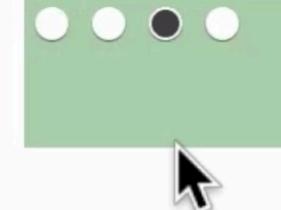
(山経寿一『ゴリラ』,東京大学出版会)

つぎの一文を挿入するのに最も適切な場所は、文中の【 a 】~【 d 】のうちどこか。

クロシロコロブスはこれを前胃で行うため、前胃発酵動物とよばれる。

- A [a]
- B [b]
- C [c]
- D [d]





1 2

昆虫食の霊長類は単純な消化器系をもち、葉食の霊長類はもっとも複雑な消化器系をもつことからみても、葉食が霊長類で特殊化した食性であることがわかる。葉ばかり食べて生活しているコロブス亜科のクロシロコロブスは、4室に分かれた大きな胃をもち、前部の2室で胃酸を弱めて大量のバクテリアを共生させている。【a】霊長類に限らず動物はほとんど植物繊維(セルロース)を分解する酵素(セルラーゼ)をもっていないので、バクテリアの力を借りて発酵させ、脂肪酸ガスに変えねばならない。【b】ウシなどの反芻動物は、みなこの前胃発酵をしている。【c】ゴリラは胃ではなく巨大な直腸にバクテリアを共生させているので、後腸発酵動物とよばれる。【d】程度の差こそあれ、葉を食物の一部にしている霊長類は後腸発酵が多い。ゴリラ以外の類人猿も人間も後腸発酵である。前胃発酵に比べると後腸発酵は消化効率が悪く、

(山極寿一『ゴリラ』,東京大学出版会)

文中の空所「

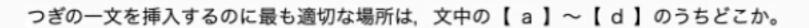
] に入れるべきことばとして最も適切なものは、つぎのうちどれか。

A 酵素

- B昆虫
- C 植物繊維
- D バクテリア

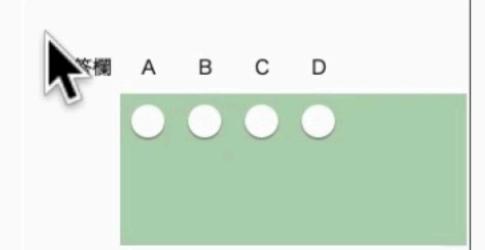


体力の定義については、学者の間でも異なっている点がいくつかある。【a】大きな違いの一つは、体力に精神力を含めるかどうかである。【b】私は、体力とは体の能力であると考え、精神力は含めないことにしている。【c】また、体格を体力に含めるかどうかでも意見が異なる。体格は、体の構造、大きさ、形態、姿勢を意味し、解剖学で扱われる。【d】このように背景とする学問体系が異なっており、私は体力のなかに体格を含めないことにする。体力を大きく と防衛体力に分類することでは、学者による違いは認められない。前者が行動のための体の能力を、後者が各種ストレスに対する体の抵抗力を意味している。多くの場合、体力といえば行動体力のことであり、それは行動を起こす能力、行動を持続する能力、行動を調節する能力の三種に分類される。一方、防衛体力の内容は、ストレスの種類(物理化学的ストレス、生物的ストレス、生理的ストレス、精神的ストレス)によって四種に分類される。防衛体力が人間の生存に深く関わる身体能力であり、健康が環境に適応している状態だとすれば、健康は防衛体力そのものであるといってもよい。 (藤原勝夫子ともを触む肥満と筋力・持久力修下)原中央公論別2006年11月号、中央公論新社)



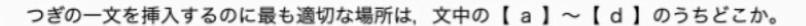
体力は、身体機能を意味し、生理学で扱われる。

- A [a]
 B [b]
 C [c]
- D [d]



1 2 3

体力の定義については、学者の間でも異なっている点がいくつかある。【 a 】大きな違いの一つは、体力に精神力を含めるかどうかである。【 b 】私は、体力とは体の能力であると考え、精神力は含めないことにしている。【 c 】また、体格を体力に含めるかどうかでも意見が異なる。体格は、体の構造、大きさ、形態、姿勢を意味し、解剖学で扱われる。【 d 】このように背景とする学問体系が異なっており、私は体力のなかに体格を含めないことにする。体力を大きく と防衛体力に分類することでは、学者による違いは認められない。前者が行動のための体の能力を、後者が各種ストレスに対する体の抵抗力を意味している。多くの場合、体力といえば行動体力のことであり、それは行動を起こす能力、行動を持続する能力、行動を調節する能力の三種に分類される。一方、防衛体力の内容は、ストレスの種類(物理化学的ストレス、生物的ストレス、生理的ストレス、精神的ストレス)によって四種に分類される。防衛体力が人間の生存に深く関わる身体能力であり、健康が環境に適応している状態だとすれば、健康は防衛体力そのものであるといってもよい。



体力は、身体機能を意味し、生理学で扱われる。

A [a]

B [b]

C [c]

D [d]







体力の定義については、学者の間でも異なっている点がいくつかある。【a】大きな違いの一つは、体力に精神力を含めるかどうかである。【b】私は、体力とは体の能力であると考え、精神力は含めないことにしている。【c】また、体格を体力に含めるかどうかでも意見が異なる。体格は、体の構造、大きさ、形態、姿勢を意味し、解剖学で扱われる。【d】このように背景とする学問体系が異なっており、私は体力のなかに体格を含めないことにする。体力を大きく ど防衛体力に分類することでは、学者による違いは認められない。前者が行動のための体の能力を、後者が各種ストレスに対する体の抵抗力を意味している。多くの場合、体力といえば行動体力のことであり、それは行動を起こす能力、行動を持続する能力、行動を調節する能力の三種に分類される。一方、防衛体力の内容は、ストレスの種類(物理化学的ストレス、生物的ストレス、生理的ストレス、精神的ストレス)によって四種に分類される。防衛体力が人間の生存に深く関わる身体能力であり、健康が環境に適応している状態だとすれば、健康は防衛体力そのものであるといってもよい。 (藤原勝夫「子ともを触む肥満と筋力・持久力修下」『『中央公論』2006年11月号、中央公論新社)

文中の空所 [

] に入れるべきことばを、文中から4文字以内で抜き出しなさい。



回答欄

行動体力



小学生に対する英語教育熱の背景には、言葉を単にコミュニケーションのツールとしかみなさない考え方が潜んでいるように思う。問題は言葉が会話の道具というだけでなく、人間の存在そのものにかかわる「基幹技術」であるという点だ。 []。そうしたシビアな地点に立脚しない語学教育は混乱を招くだけに終わる危険性がある。

- A 言葉は思考の源泉である
- B 母国語は国家の根幹である
- C 教員の養成は一朝一夕にはできない
- D 言語の習得には早期教育が有効である

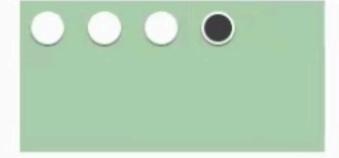






人文・社会科学の分野においては、議論の対象となるものは具体的な形で外界に存在するものでないことが多い。それはことばによって定義されるが、ことばは常にあいまいさをもつし、あいまいさがほとんどなくても、定義を完全な形で与えることは難しいから、[]。

- A 多くの人は唯一の解釈しか読みとらない
- B 文章上の不明確さはそれほど深刻な問題ではない
- C 論文を読む人が直感的に理解できるものである必要がある
- D 人によってその概念に対する理解が多様になる可能性が常にある

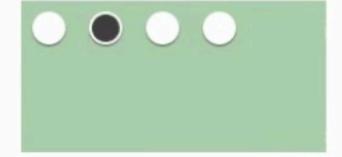






最近になって、人里の自然を守ろうという言葉がよく聞かれるようになった。しかし、 [を忘れてしまっては、事実を正しく見ることにはならない。原始自然には、それなりの平衡状態が保たれていた。人里に今見る自然は、人が自然と馴染みながら徐々に改変してきた姿である。人里はまさに人為、人工のつくりだした姿であり、自然そのものではない。

- A 都会にも自然が残されていること
- B 人里も自然破壊の産物であること
- C 日本人は人里に自然の姿を求めていること
- D 自然を守りながら人里をつくりあげてきたこと



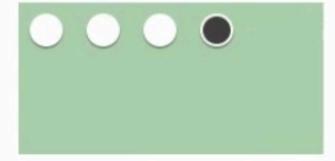




最近になって、人里の自然を守ろうという言葉がよく聞かれるようになった。しかし、

[] を忘れてしまっては、事実を正しく見ることにはならない。原始自然には、それなりの平衡状態が保たれていた。人里に今見る自然は、人が自然と馴染みながら徐々に改変してきた姿である。人里はまさに人為、人工のつくりだした姿であり、自然そのものではない。

- A 都会にも自然が残されていること
- B 人里も自然破壊の産物であること
- C 日本人は人里に自然の姿を求めていること
- D 自然を守りながら人里をつくりあげてきたこと







音楽は古来, [] と考えられ, プラトンは, 政治家たる者は音楽を熟知すべきであると述べた。音楽を効果的に使う術を身につけることが, 人々を支配するための強力な武器になると考えたからである。日本が明治時代に東京音楽学校を作ったのも音楽が国家統治のための不可欠な手段だと考えた結果であった。

- A それを聞く人を論理的な思考や冷静な判断に導く
- B 心の奥底に眠っている感性を呼びさましてくれる
- C 感情をかきたてることによって人を動かす力を持つ
- D 癒しの力を備えておりヒステリックな感情を静める

